

ゆのまえ 議会だより



No. 38
令和4年
5月15日発行

「住民に見える議会」
「住民が参加しやすい議会」
「議会力・議員力の向上」を実現する



大きな役割を果たす消防団員の減少



P2 特集

町消防団員の現状と対策

P4 本会議

過去最大の新年度予算

P9 一般質問

5人が執行部の考えを質す

P15 全員協議会

P16 委員会

P18 一部事務組合

P19 議会の窓 ※新コーナー

P20 住民の声

今号の写真

消防団は、消火活動や大規模災害時の救助救出活動、避難誘導、災害防御活動など、非常に重要な役割を果たしています。その他、住民への防火指導、巡回広報、特別警戒、応急手当指導など、地域に密着した活動を展開しており、地域における消防力・防災力の向上、地域コミュニティの活性化に大きな役割を果たしています。

しかし、その消防団員が全国的に減少しています。本町消防団の現状と対策はどうなっているのでしょうか。

特集につづく・・・

特集

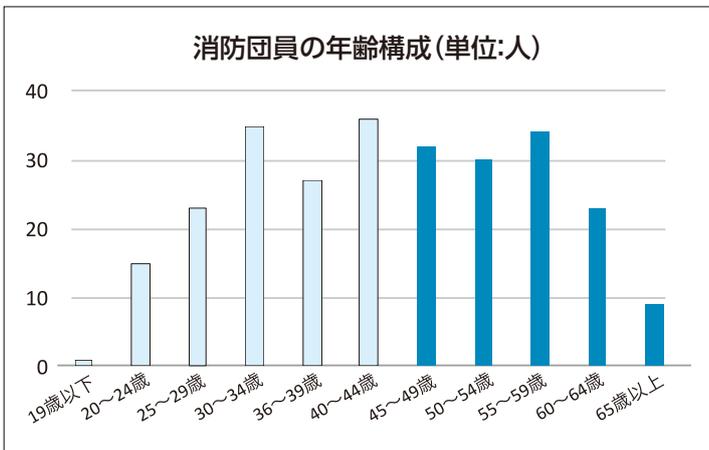
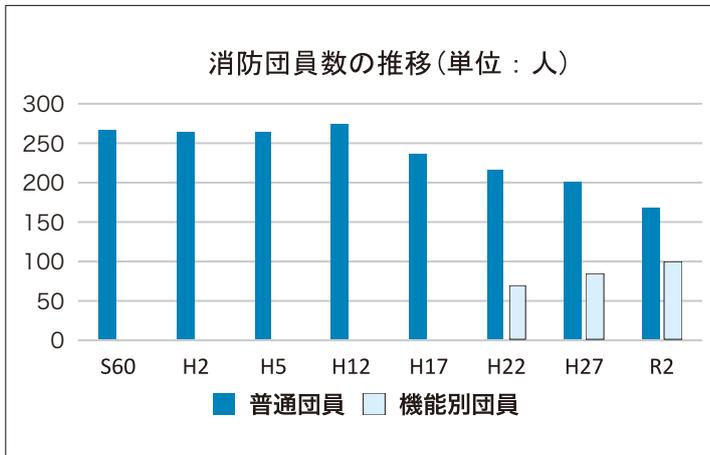
町消防団員の現状と対策

令和4年度に処遇改善

消防団員数は2年連続で1万人以上減少する危機的状況にあります。消防庁において「消防団員の処遇等に関する検討会(令和2年12月〜)」が開催され、この中間報告をふまえて国からの基準が示されました。市町村では、消防団と協議のうえ令和4年度から必要な措置を講じることとされています。本町においても報酬などの見直しを行い、令和4年度の当初予算で議決しました。

消防団員の現状

普通団員数の減少を機能別団員で補う



各部の団員数 (単位:人)

	普通団員	機能別団員	備考
幹部	7	—	
第1分団1部	18	7	上里
第1分団2部	11	8	中里
第1分団3部	9	9	下里・植木
第2分団1部	9	5	上下染田
第2分団2部	3	7	古城
第2分団3部	8	6	浜川
第2分団4部	8	5	下城
第3分団1部	5	6	浅鹿野
第3分団2部	9	5	上中猪
第3分団3部	15	6	野中田
第3分団4部	11	9	田上
第4分団1部	15	5	上村
第4分団2部	9	8	下村
第4分団3部	15	12	馬場
第4分団4部	10	2	瀬戸口
女性団員	8	—	
合計	170	100	

令和4年3月1日現在

今後の対応

報酬と費用弁償の見直し

消防団員の階級別年報酬

(単位：円／年)

階 級	これまで	R 4年度～ ※ 1	比 較	支給方法
団長	111,000	116,000	5,000	個人へ直接支給 (変更なし)
副団長	82,000	94,000	12,000	
分団長	61,000	73,000	12,000	
副分団長	57,000	57,000	0	
部長	42,000	46,000	4,000	各部へ支給 → 個人へ直接支給 (変更) ※ 2
班長	38,000	39,000	1,000	
団員 (自動車ポンプ班員)	35,000	37,000	2,000	
団員 (その他のポンプ班員)	34,000	37,000	3,000	
団員 (その他の団員)	31,000	37,000	6,000	
団員 (機能別団員)	12,000	12,000	0	

※ 1：上球磨消防団連合会 (あさぎり町、多良木町、湯前町、水上村) で統一

※ 2：委任状の提出で各部の会計へ支給

消防団員の出勤報酬と費用弁償

(単位：円／日)

種 別	支出項目	これまで	R 4年度～ ※ 3	支給方法
火 災	出勤報酬	0	8,000	各部へ支給 → 個人へ直接支給 (変更)
	費用弁償	0	1,600	
風水害	出勤報酬	0	8,000	
	費用弁償	3,000	1,600	
捜 索	出勤報酬	0	8,000	
	費用弁償	3,000	1,600	
警 戒	出勤報酬	0	8,000	
	費用弁償	3,000	1,600	
訓 練	出勤報酬	0	0	
	費用弁償	2,600	1,600	
会 議	費用弁償	1,600	1,600	

※ 3：出勤報酬は2時間区切りで計算 (2時間以内 2,000円、4時間以内 4,000円、6時間以内 6,000円)

(処遇改善の条例改正は、本会議 7 ページを参照)

過去最大の新年度予算

財政健全化を目指す

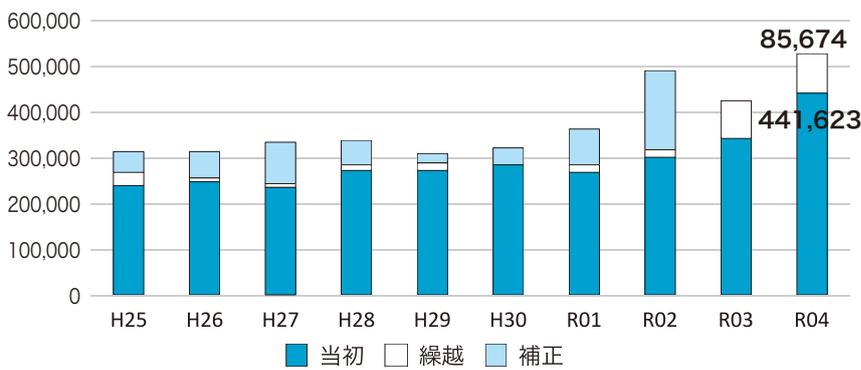
3月定例会は、9日から18日まで10日間の日程で開かれました。議員5人が一般質問を行い、令和4年度予算、条例改正などを審議しました。令和4年度一般会計当初予算は過去最大となる44億1623万円となりました。また1月17日に臨時議会を開いています。

当初予算

これまでの一般会計当初予算は、補正予算で対応するものを存目10000円で計上し、予算規模の原型がわかりづらいというデメリットがありました。

令和4年度の当初予算では、これを改め、会計年度すべての予算を見積もる形で予算編成を行い、財政の健全化を図ったことから、過去最大の予算規模になっています。

R4 一般会計当初予算の推移 (単位：万円)



町の情報通信基盤を再整備

防災ラジオシステム導入

2億1680万円

全世帯に設置しているIP告知放送端末の製造廃止、庁舎内情報センター機器群の老朽化により、次期システム更新が必要になります。

防災情報を各家庭に届けるため、有線システムよりも災害に強い280メガヘルツ帯を利用した無線通信の防災ラジオを導入し、全世帯に配布します。なお工事費の中には、各地区の屋外放送スピーカーの高性能化や高音質化の改修費も含まれています。

(スケジュールは全員協議会15ページを参照)

光ブロードバンド整備事業補助金

2億4650万円

現状の公設公営によるインターネット接続サービスにおいて、行政運用の負担軽減、

減、光ファイバー回線速度増強、災害時における復旧時間の短縮など、民設民営サービスに移行するための費用です。

今回、総務省の高度無線環境整備推進事業を活用します。この財源となる過疎対策事業債は、後年度の償還金に交付税措置70%があるため、町の負担は30%になります。



庁舎内情報センター機器群

農業公社の再開支援

公益性事業の補助

300万円

地域の農業振興事業を担う湯前町農業公社の公益性事業に対し、町独自の支援を行います。対象事業は次のとおりです。

- ① 受託作業事業
- ② 機械貸出事業
- ③ 農地維持・保全事業



4月に事務所を移転した農業公社

上溝・中溝の整備計画

県営二溝水路改修

450万円

受益地区の農業経営の変化と展望、農業構造再編の目標などを示す「基盤整備関連経営体育成等促進計画書」の作成業務委託料を計上しました。

湯楽里周辺の整備

湯楽里高圧設備改修工事

4160万円

湯楽里本館上り口の駐車場内および合宿棟前に設置しているキュービクル、合宿棟下に設置している気中開閉器が老朽化したため更新します。

グリーンパレスのサル小屋解体撤去工事

95万円

飼育していたサルがすべて死んだため、小屋を解体します。鉄骨ゲージの撤去、コンクリートブロックの解体、コンクリート面の洗浄などを行います。

公共施設の整備

役場庁舎屋根防水工事

設計業務委託料

450万円

屋根防水シートの劣化が進み、本庁舎の雨漏りが年々広がっています。今回、屋根防水シートの全面改修における設計費を計上しました。施工は令和5年度以降の予定です。

公共施設等総合管理計画策定支援業務委託料

222万円

10年間を1期としている本計画は、平成29年度に策定し、5年ごとのローリングによる計画見直しを行います。試算条件の変更、公共施設の改修と追加、解体撤去の検証に伴う見直しなどを行います。

町有施設解体工事

221万9000円

用途を廃止している下里区と中里区にある老朽化した消防詰所(つめしよ)の建物を解体撤去します。

移住定住施策

地域優良賃貸住宅建設工事

6180万円

駅前団地の地域優良賃貸住宅4戸を建設します。(令和5年度に残りの2戸を建設予定)子育て世代をターゲットにした住宅環境を整備し、人口の流出防止などに取り組みます。



工事が始まった駅前団地

結婚新生活支援補助金

180万円

低所得者の婚姻に伴う新生活を支援することで、少子化対策に役立てることを目的としています。住居費と引っ越し費用の一部を支援します。29歳以下で所得合算額が400万円以下の夫婦3組分（1組あたり60万円）の予算を計上しました。

本事業は国から3分の2の補助があります。

婚活イベント委託料

100万10000円

未婚率の上昇や晩婚化に歯止めをかけるため、結婚を希望する人に対して、出会いや交流ができる場を提供する婚活イベントを実施します。

民間企業のノウハウを活用して企画・運営を行います。若者の結婚へのきっかけづくりを支援することで、若者の移住定住につなげます。

本事業は、県から10万円の補助があります。

新たな企画

ロゲイニング運営委託料

100万円

このイベントは町内約50カ所のチェックポイントを設け、1〜5人のグループで制限時間内に多くのポイントを獲得したチームが勝利するというルールです。

専用のGPSアプリを使い、ゲーム感覚で楽しめます。屋外開催の分散型イベントで、コロナ禍でも安心して開催できます。町内への誘客と消費喚起を図ります。

自転車競技ツアー・オブ九州湯前ステージ大会負担金

150万円

「ツアー・オブ九州」では、九州各県で自転車ロードレースを開催します。地震や豪雨災害からの復興を後押しし、青少年の健全育成と九州各県の創造的復興を目指しています。

全6ステージのうち、湯前町（ステージ4）、人吉市（ス

テージ5）が8月21日（日）に開催予定です。

【開催の目的】

◎東京オリンピックピック以降も世界へ羽ばたく競技者を輩出するため、本大会を「ジュニア競技者の育成基盤」の一つとして確立させる。

◎「サイクルスポーツのさらなる普及・発展」と、九州各県の「地域の振興」に寄与する。



スポーツコミュニティ活性化事業

227万8000円

起業人（ルネサンス大森さん）が発案した事業に対して補助金が交付されます。地域活性化起業人制度の特別交付税措置の1つです。

令和4年度は、スポーツで学ぶ防災体験事業、人材育成事業、児童運動プログラム指

導者養成講座が計画されています。

今後も海洋センターを軸とした健康教室など、関係各機関との連携を図り、住民の健康づくりを進めていきます。

条例改正

湯前町畜産センターの設置及び管理に関する条例

畜産センター（田上）の目的と名称を変更しました。変更理由は、当該センターに機械倉庫と農業用機械を整備し、農業公社の事務所を4月から移転することに伴うものです。

【目的】

- （旧）畜産業の振興
- （新）農畜産業の振興

【名称】

- （旧）湯前町畜産センター
- （新）湯前町アグリセンター



農畜産業の振興拠点 湯前町アグリセンター

消防団員の処遇改善 特別職の非常勤職員の 報酬並びに費用弁償に 関する条例

本町を含む上球磨消防団連
合会での会議、本町消防団幹
部会での説明会議を経て、消
防団員の年報酬、出勤報酬お
よび費用弁償の見直しを行
います。

(改善内容は特集3ページを
参照)
(団員コメントは住民の声20
ページを参照)

その他の議案

工事請負契約

◎ 町道猪鹿倉横谷線災
害復旧工事(第1工区)
5596万2500円



令和2年7月豪雨災害の爪痕が残る横谷方面の道路
(旧 国道219号線)



町道路線の認定

中高沖線(古城区)

224.3m



中永野中央線(馬場区)

529.8m



固定資産評価審査委員に椎葉源二さん

湯前町固定資産評価審査委員会委員の選任同意

委員の欠員(1人)に伴い、長谷町長より新たに椎葉源二さん(上里3)の選任を求められ、同意しました。(任期3年)



討 論

なし

今期(令和2年12月)は、「議案反対10件」に対して討論が3件だけです。議案に反対する場合は、反対討論を行うことが本町議会の課題です。

討論とは

議案の質疑が終わった後、自己の意見(賛成・反対)を表明し、意思を決めていない者をその意見に賛同させるものです。

議案審議など 賛否一覧 [報告を除く議案：26件(1月~3月)]

議 案	吉田 精二	西 靖邦	遠坂 道太	椎葉 弘樹	森山 宏	黒木 龍次	味岡 恭	金子 光喜	山下 力	倉本 豊	審議結果 (賛成：反対)
令和4年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(9:0)
令和3年度一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(9:0)
特別職の非常勤職員の報酬並びに費用弁償に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(9:0)
工事請負契約の締結(町道猪鹿倉横谷線)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(9:0)
上記以外の議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(9:0)

○：賛成 ×：反対 -：採決なし(議長は採決に加わりません)

5人が執行部の考えを質す

質問者(登壇順)	質問項目	ページ
味岡 恭	①免許返納の環境づくり	10
西 靖邦	①攻めの施策による地域の活性化に向けて	11
遠坂 道太	①農業の振興策	12
椎葉 弘樹	①町の公共交通対策	13
金子 光喜	①消防・防災力の向上	14

特別企画

前回一般質問

YouTubeアクセスランキング

2号連続で西議員が1位

一般質問への町民の関心をより高めるため、YouTube動画へのアクセスランキングを公表します。

皆さまの視聴が議員のモチベーションにつながりますので、ぜひご覧ください。

議員	12月一般質問	ランク
西 靖邦	354	1位
金子 光喜	40	2位
椎葉 弘樹	31	3位
遠坂 道太	25	
吉田 精二	18	
森山 宏	12	

(令和4年4月10日時点のアクセス数)

爆発的に注目された要因は特別委員会で解析中です。

一般質問のYouTubeライブ配信(生放送)を行っています。

一般質問は、IP告知端末放送(2チャンネル)とYouTube動画(生放送と録画)配信を行っています。なおYouTube動画は、パソコンやスマートフォン、タブレット端末から視聴できます。

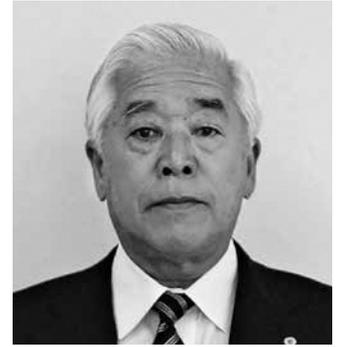
◎YouTube動画 (「湯前町オフィシャル」で検索)

YouTube



問 免許返納の環境づくり

答 シニアカー貸し出しは難しく 購入補助から調査



味岡 恭 議員



録画中継

要旨 免許返納者の把握、免許返納の推進は。

答弁 免許返納者の把握は、福祉タクシー券の交付申請の際に把握している。免許返納の推進は、年1回程度旬報を活用し、町民にお知らせしている。

要旨 アンケートや聞き取り調査は。

答弁 平成28年度、65歳以上を対象に移動手段に関する実態調査を実施。平成30年度、福祉タクシーの申請者を対象にアンケート調査を実施。令和3年度、タクシー事業者に対し福祉タクシーの目的地と運行経路の調査を実施している。

要旨 バスとタクシーの利用割合は。

答弁 令和2年度のバス利用が0・1%、タクシー利用が99・9%であった。

要旨 利用助成券の利用者数は。1冊と2冊の利用者は。利用者の町の中心部とそれ以外の割合は。

答弁 令和2年度の利用者は407人、そのうち1冊交付の方が139人、2冊交付の方が268人。町中心部の利用者は3割、それ以外の利用者は7割であった。

要旨 免許返納推進のための移動支援の環境整備および新たな支援策の導入計画は。

答弁 新たな支援策は現時点では考えていないが、現在、人吉球磨における公共交通計画を策定しており、関係町村とも協議したい。

介護保険サービスの対象にならない方は 購入負担が大きい



免許証を返納した後の乗り物

要旨 免許返納を後押しするために、シニアカーの貸し出しが、購入時の補助金制度の導入についての考えは。

答弁 貸し出しは、管理者責任を問われるケースや経年劣化による整備費などの問題により、慎重にならざるを得ない。購入補助金は導入自治体の事例をまず調査したい。

要旨 シニアカーの利用環境の整備は。

答弁 国道、県道は歩道の改良整備などを引き続き要望し、町道は通学路としての歩道の整備を行っており、継続して進めたい。



西 靖邦 議員



録画中継

問 攻めの施策による地域の活性化に向けて

答 「道の駅」構想は肯定的に捉えている

要旨 「道の駅」将来構想の考えは。

答弁 未来を見据えた構想のうち、道の駅は最も有効性のある施策の一つである。攻めの姿勢で道の駅の整備に向けた事業構想を進めてはとの提言をいただき、成功事例と地域活性化の効果を聞くことができた。

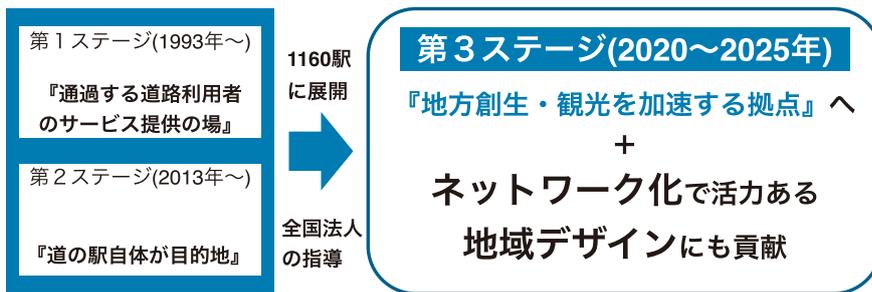
道の駅に関しては、まだ知識が浅いところもある。これ

から新しく始める事業であり、その内容や規模、実現方法など、具体的に考えて骨組みを求めることになる。事業をさらに深く考え、問題点を細かく分析することが、事業構想になると思っている。このため道の駅構想は、肯定的に考えていければと思っている。慎重な答弁ということでご理解をいただきたい。

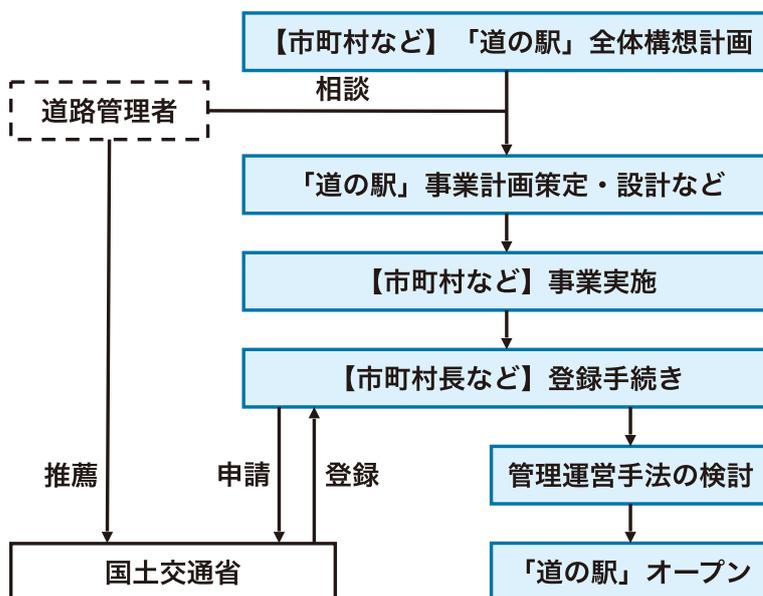
道の駅は、当然ビッグプロ

ジェクトであり、整備は非常に大きな事業費になる。このため、5年以内を目途にスビーディーに推し進めるようにというご指摘についても、慎重にとりご答弁したい。

「隗より始めよ」という言葉がある。道の駅がどのような仕組み、補助制度で整備されているのか、運営の形態や状況などを担当課に調べさせることから始めてみたい。



「道の駅」整備フロー



問 農業振興策

答 人・農地プランの実現に向けた農業支援を行う



遠坂 道太 議員



録画中継

要旨 農地利用の最適化(人・農地プラン策定も含む)に関する集落(地域)座談会の結果は。今後の活用は。

答弁 耕作面積の42%が70歳以上の方で耕作、64%が後継者未定の方。今後、地区内の中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積は、7%となっている。

今後、高齢の農業者の耕作地を引き受ける経営体が少ないことに非常な危機感を持っている。

「人・農地プラン」の策定は、地域での話し合いを行い、経営体で集積できるように協議し、実情と計画の検証を行う。プランの実現に向けて、関係機関が連携して、将来の方針

の実現に向けて支援していかなければならない。

要旨 営農活性化のために、水田排水対策(乾田化)を進めるようになってきているが計画はあるのか。

答弁 水路改修事業の要望や中山間地域等直接支払交付金事業で関係地区からの相談

があつた場合、暗渠(地下排水)などの整備は、国の事業や制度を役場側から説明を行い、事業化の取り組みを進めていく。

要旨 農業公社事業向上のために、WCS用の専用収穫機などの導入を考えてはどうか。

答弁 農業公社は、3年間休止状態であつたため、令和4年度にリスタートするところであり、事業計画や収支計画を毎年修正しながら運営していく。今回のご提案は、今後の農業公社の運営を考えた積極的なものであり、その動きあたりを見ながら、しっかりと確認しながら行う。



「人・農地プラン」地域での話し合いの様子



水田排水対策の工事



椎葉 弘樹 議員



録画中継

問 町の公共交通対策

答 タクシー券追加支給と乗合タクシーを検討

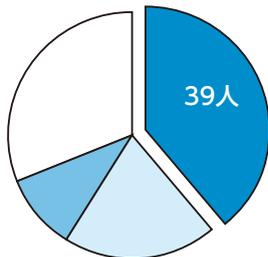
要旨 タクシー利用助成を65歳以上に拡充して5年になるが、この制度の課題をどう考えているか。

答弁 65歳未満で移動困難なケースはさまざまあり、全ての把握はできていない。人吉・球磨地域公共交通計画において、くま川鉄道の復旧後に「あさぎり〜湯前間」を町村が運行するコミュニティ交通に見直す方針となっている。

「水上〜湯前間」を含むコミュニティ交通の在り方を、関係町村と協議を進めたい。タクシー利用助成制度は現時点でベストと考えているが、現状分析が十分できていない。本当に困っている方へのタクシー利用券の拡充は、交通計画との整合性をとりながら、可能であれば見直しも行っていきたい。

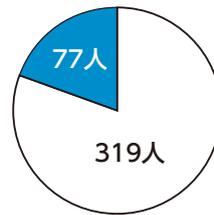
る。「水上〜湯前間」を含むコミュニティ交通の在り方を、関係町村と協議を進めたい。タクシー利用助成制度は現時点でベストと考えているが、現状分析が十分できていない。本当に困っている方へのタクシー利用券の拡充は、交通計画との整合性をとりながら、可能であれば見直しも行っていきたい。

2冊終了した77人の利用目的



● 町外病院 ○ 町内商店 ● 町内病院 ○ その他

令和3年度タクシー利用券交付状況(1月末時点)

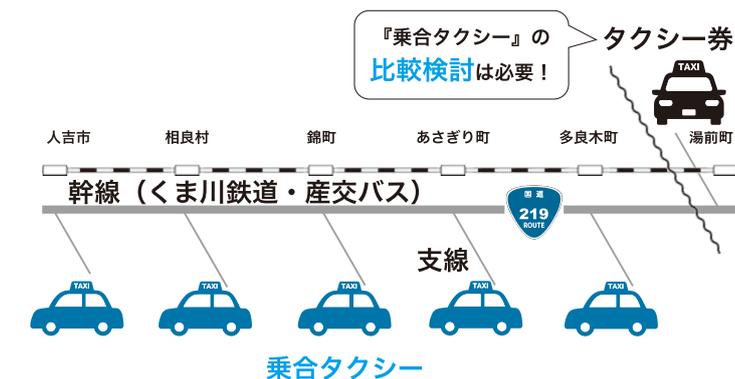


○ 2冊未満 ● 2冊終了

要旨 本町のコミュニティ交通はタクシー利用助成で対応しているが、くま川鉄道的全線開通に向けて見直す考えはないか。

答弁 他市町村で運行している乗合タクシーの検討は一応行っている。乗合タクシー制度は、例年3月の特別交付税分の対象事業になっている。運行損失に対し約8割が理論上は示されている。8割がそのままなのか、毎年度対象事業となるのか分からない状況。地域公共交通計画において、関係市町村が連携したコミュニティバスの運行の在り方もみながら、町内の公共交通の在り方も検討が必要。

ドアツードアのデマンド（予約）型乗合タクシーは、現行のタクシー利用助成制度に比べて、事前予約や時間の制約など、利用者の利便性が低下する。予



約システム構築などの初期費用やランニングコストもかかる。一方で特別交付税の措置がある。他町村の状況、メリット・デメリットなど、今後の検討課題としたい。

本町の地域公共交通計画の要否は、人吉・球磨公共交通計画の様子を見ながら、判断したい。



金子 光喜 議員



録画中継

問 消防・防災力の向上

答 関連組織などと検討しながら対応

要旨 団員減少に向けた取り組みは。

答弁

・団員のイメージアップ（少年消防クラブなど）

管内には、あさぎり中学校と人吉の西瀬小学校に組織がある。ただし校外活動であり、任意の団体の活動となっている。

小中学生の頃から消防団へ

の理解を深め、将来団員になることを目指す趣旨は理解できる。例えば、学校の避難訓練などの際に消防団の方をお招きしての活動は可能と思う。

・機能別団員の現状と今後

普通団員が170人、機能別団員が100人の状況。部によっては機能別団員の方が多いところもある。その役割

が重要視される構造になっている。今回の報酬改定では対象外だが、今後、幹部会に諮ってみたい。

・組織再編の考えは
喫緊の課題と思う。幹部会を中心に協議をする。

要旨 団員の訓練と安全確保は。

答弁

・知識習得対策（緊急走行、現場対応）
コロナの影響で訓練などできていない。落ち着けばやるべきと考えている。緊急走行時の安全対策は、警察や消防署に相談して対応したい。まずは緊急自動車運転要領を作ることを考えている。

・消防車両の整備（免許制度対策、オールシーズンタイヤ）
免許制度の改正は承知している。特に若い団員には配慮する必要があるため、消防主任と検討を始めている。

要旨 婦人会との連携
オールシーズンタイヤは、これまで特に考えた事なかったが、町の現状を踏まえ、関係者に伺いながら検討してみたい。



問われるオールシーズンタイヤの必要性

答弁 婦人会には赤十字奉仕団という位置づけがあり、災害救護、防災活動がうたっている。防災計画書でも発災直後の炊き出しの役割で、婦人会や青年団にお願いするよう計画されている。令和4年度の総合防災訓練でも協力をお願いし、意見交換もしていきたい。



炊き出しで欠かせない婦人会の協力

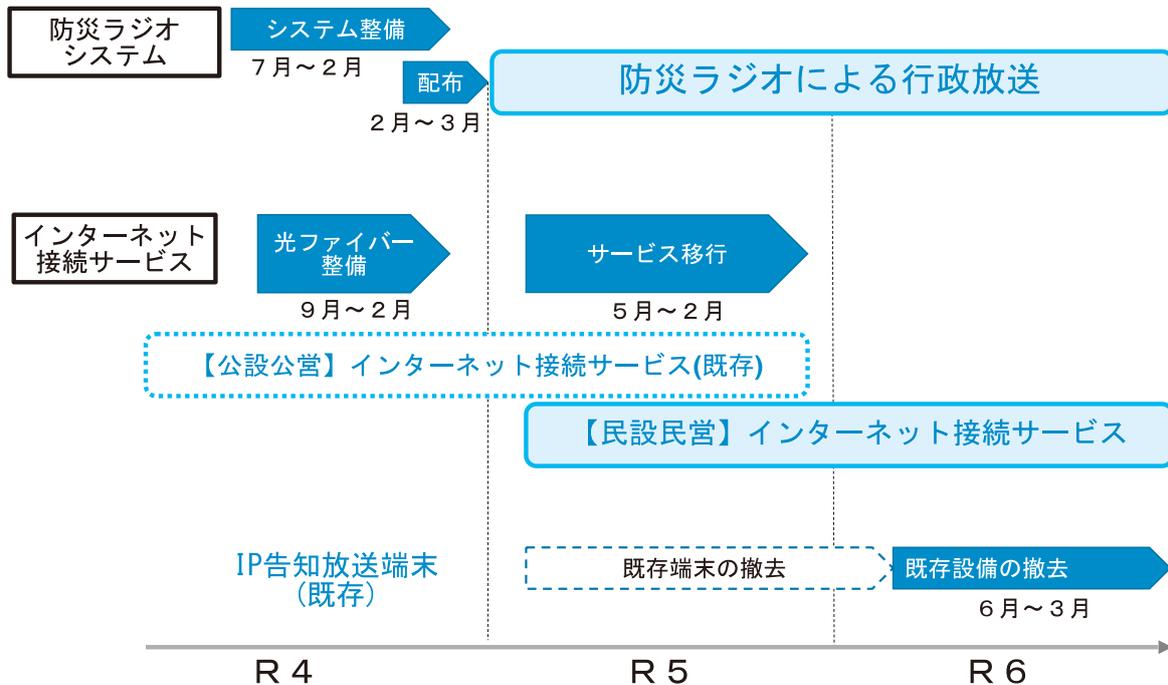
全員協議会

1月17日 2月17日 2月24日
3月14日 3月24日 3月31日

主な協議事項

防災ラジオ・インターネットの整備スケジュール 計画案が示される

防災ラジオシステムは、令和4年度に整備し、各世帯に防災ラジオを配布する計画です。
公設公営による町のインターネット接続サービスは、令和4年度に光ファイバーを整備し、
令和5年度に民間サービスへ移行（民設民営）する計画です。



(予算は本会議4ページを参照)

留意点

- ◎現在ご利用いただいている「xxx@ynbb.jp」のメールアドレスは、インターネット接続サービスの民営化後に使用できなくなります。
- ◎地上デジタル放送の難視聴世帯は、これまでどおり既存の設備を利用できます。
- ◎防災ラジオでは議会放送を聞くことができなくなります。
※一般質問はこれまでどおりYouTubeで配信

上記は、スケジュールや移行方法などが確定した後、町から正式に周知されます。

総務厚生文教常任委員会

2月14日

次の所管事務を調査しました。

◎御大師堂周辺整備

委員長	椎葉 弘樹
副委員長	吉田 精二
委員	倉本 豊、黒木 龍次、西 靖邦

御大師堂 本年度完成予定 計画に基づき御大師堂周辺を整備

御大師堂周辺整備基本計画

主な計画内容は、①休憩所 ②弓道場 ③公園全体 ④散策道の4項目です。

本計画の策定は、伊東龍一先生が属する熊本大学に委託しています。伊藤先生には、御大師堂の調査や県指定文化財への移行手続きなどにもご協力をいただいています。

令和4年度・公園駐車場や休憩所などの整備

休憩所の設計、工事、公園の実設計など、令和4年度分の街なみ環境整備事業の要望を昨年12月に実施しています。

弘法大師座像の修理と搬入

弘法大師座像は、下里区が事業主体となり修理を発注しています。令和4年1月末に、京都の公益財団法人美術院が修理を受注。御大師堂本体が完成し防犯・防災設備を整えた後に搬入する予定です。

吉祥院の調査結果

トイレの手前側に「土間たたき」、弓道場の手前から「溝の跡」、その他「陶器」なども発掘しています。

球磨絵図（江戸時代に描かれた人吉球磨の絵の複製版）には、大きな吉祥院と小さな御大師堂が描かれています。レーダーで全体的に調査した結果、礎石の跡は見つからなかったため、御大師公園整備は上に被せるかたちで進められます。

本調査結果の町民への公表が課題です。

弓道場の整備

整備費が多額であること、競技人口の少ないことなど、今後の見通しを勘案する中で話が進んでいません。当時の整備要望から5～6年がたち、競技人口も減り、状況が変わってきています。関係者と再度の協議をして弓道場整備の方向性を決めることが課題です。



整備状況を確認する委員

企画経済建設常任委員会

2月14日

次の所管事務を調査しました。

◎町有林の分布状況

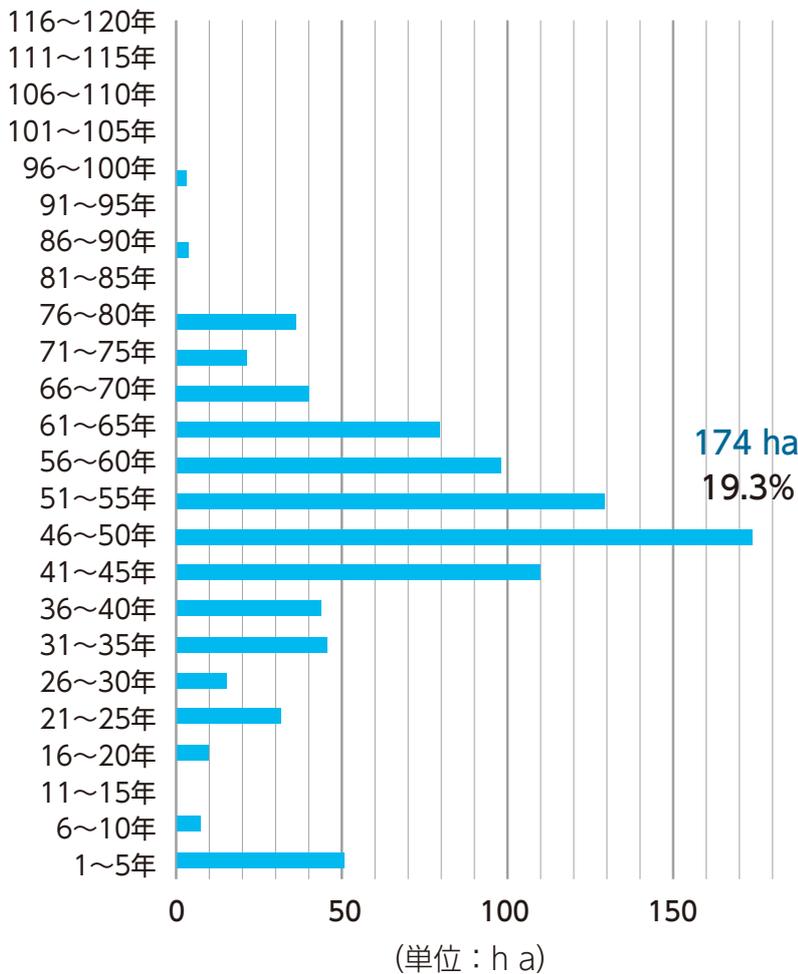
委員長	遠坂 道太
副委員長	味岡 恭
委員	山下 力、金子 光喜、森山 宏

町有林の総面積 901.37ha

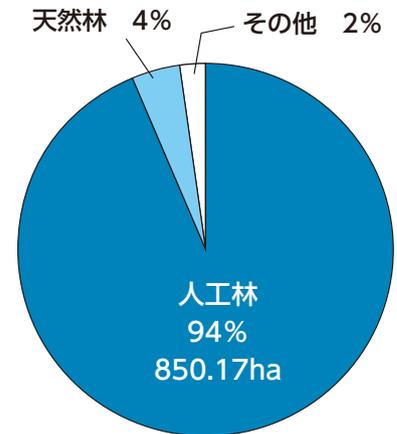
町有林の各種内訳を調査

樹齢46～50年の人工林が最多

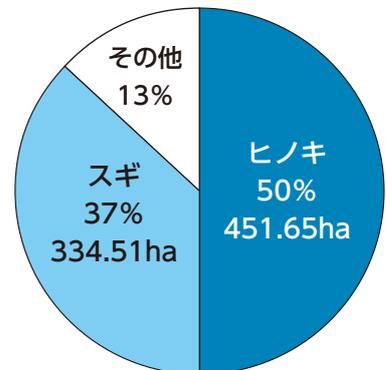
町有林の齢級別内訳



町有林の人工林・天然林・その他内訳



町有林の樹種別内訳



令和4年度 一部事務組合の当初予算と町負担金

	当初予算	湯前町の負担金
公立多良木病院企業団	46億6826万円 (45億3574万円)	4714万円 (1669万円)
人吉球磨広域行政組合	17億2236万円 (16億4256万円)	6407万円 (6372万円)
上球磨消防組合	6億5100万円 (6億3600万円)	1億25万円 (8754万円)

(括弧数字：令和3年度予算)

人吉球磨広域行政組合議会

クリーンプラザ第二期大規模整備

令和4～5年度で実施

ごみ焼却施設(クリーンプラザ)は、供用開始から20年目に入り、第二期大規模整備工事を実施します。整備費総額は10億4733万円です。なお第一期・大規模整備工事(約14億円)は、平成22～26年度に行われています。

施設稼働期間は令和14年度までとなっています。次期ごみ処理施設への更新および新たなごみ処理体制の基本構想を立てる時期にあり、令和4年度に「ごみ処理基本計画」を策定します。



建設当時(20年前)のクリーンプラザ

<広域行政議員 椎葉・西>

公立多良木病院企業団議会

企業長の後任決まる

新体制での病院経営始まる

大島(前)企業長は、2期8年間、当病院の企業長として尽力されました。後任には高森企業長が就任されます。令和4年度の赴任医師を以下に示します。(敬称略)

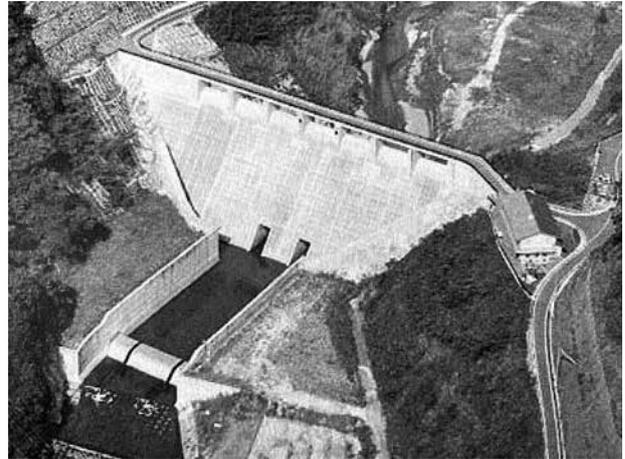
企業長	高森 啓史
診療部長兼外科部長	中原 修
外科医長	甲斐田 剛圭
循環器科部長	荒木 智
内科総合診療科医長	福司山 真紀
内科総合診療科医長	河野 真美
整形外科医長	岩佐 一真
内科総合診療科医長兼古屋敷診療所長	河原 駿

<公立病院議員 金子・遠坂>

議長 の 窓

12月21日、球磨郡議長会による視察研修が行われ、島根県益田市にある穴あきダムを視察しました。ダムの大きさは高さ48m、長さ169mで、今回計画されている川辺川ダムの約20分の1の規模でした。県のダム管理事務所から説明を受け、環境にも問題なく、魚も川をさかのぼることができているとのことでした。

宮崎県西米良村で村長選挙が行われ、前村議の黒木竜二氏が初当選されました。前村長の黒木定藏氏には6期24年、本町に対してご指導やご支援をいただきました。特に国道219号改良の共同要望や公立多良木病院への医師の招聘(しょうへい)にご尽力をいただきました。宮崎大学医学部より整形外科のドクター2人に来ていただいています。新村長にも引き続きのご協力をお願い申し上げてきました。



視察した穴あきダム(島根県益田市)

議会事務局 の 窓



新任あいさつ

4月の異動で議会事務局長となりました赤池です。議会事務局は初めての配属のため、緊張と不安で一杯の日々を送っていますが、議会運営がスムーズにいくように、また、町民の方と議会、町執行部をつなぐ役割として自分なりに頑張りますので、よろしくお願いたします。

議会スケジュール【4月～6月】

活動内容	日程(予定)	対応者
議会広報調査特別委員会	4/5 企画会議 4/11 編集会議	森山、金子、椎葉、遠坂、西、吉田
議会運営委員会	4/15 6/1	黒木、金子、森山、椎葉、遠坂、倉本議長
上京要望	4/20～21	全議員
議会全員協議会	4/25 5/25 6/24	全議員
三市町村議会委員長会(西米良)	4/26	遠坂議員
上球磨正副議長会	5/10 総会	倉本議長、金子副議長
郡議長会	4/14 5/12	倉本議長
常任委員会	5/16 総務厚生文教、企画経済建設	全議員
全国議長会(東京)	5/30 研修会	倉本議長、金子副議長
県議長会(東京)	5/31 県関係国会議員への要望	倉本議長、金子副議長
本会議	4/19 臨時会 6/9～16 定例会	全議員

住民の 声



年4回にわたり、特集ページに関するテーマを設定し、住民の皆様からご意見をいただきます。

テーマ 消防団インタビュー①



湯前町消防団
団長
土屋 登志久さん

○消防団員の現状は

消防団員(以下、団員)は全国的に減少傾向にあり、新たな団員の確保も困難な状況です。本町には消防団活動に理解のある事業所が多く、団員が長く活動しやすい環境を地域全体でつくりられています。団員確保は、現職の団員が地域内に引っ越された方を勧誘しており、地域と団員の努力で団員数をどうにか維持できています。

○消防団の課題は

一番の課題は団員の確保です。人口減少と少子高齢化で、団員の平均年齢が年々上がることは避けられません。令和2年7月豪雨災害などの大規模な災害において、住民に最も身近な消防団は災害対応の旗艦となります。町や議会、消防団OB、地域の皆様にご協力いただき、団員の確保に努めなければなりません。

○消防団の今後は

令和3年度にB&G財団の支援で配備された油圧ショベルやミニホイールロードなどの重機を用いて、災害対応の後方支援や災害を未然に防ぐ活動などに従事する「湯前町消防団機動班」を新設しました。災害支援活動の実績ある団体や林業者、建設業者の方々から、重機操作の知識や技術を習得し、防災拠点としての役割の一翼を担う組織になることを期待しています。

テーマ 消防団インタビュー②



湯前町消防団
第3分団3部 部長
小田 智幸さん

○消防団の大変なところは

危険な現場もありますが、団員として果たすべき責務だと思いますし、何より仲間が一番の支えとなってくれますので、大変だと思うことはありません。

○消防団に入って良かったことは

防災に対する意識が高まったことと、消防団の活動を通じ地域の特徴をより把握することができました。「住んでいる町を守る」という使命感を感じることができるのはもちろんですが、何より地域の方や団員と親しくなれたことです。

○消防団員としての思いは

地域の安全を守る活動ですので、消防団活動にはやりがいを感じています。自分に何ができるのか、何をすべきか、日々模索中ではありますが、少しでも地域の役に立てればと思います。コロナ禍で思うような活動はできていませんが、「家族や仲間と暮らす地域のため」という思いを持って、これからも活動していきたいと思っています。

「住民の声」にご協力いただける方は、議会事務局までお電話下さい。☎0966-43-4111(内線261)

編集後記

▶先日、B&G財団の支援で作られたマンガふるさとの偉人那須良輔物語「風を描く人」を、嬉しく楽しく読ませていただきました。先生の生い立ちの中で、戦争の悲惨さや苦しかった時代の様子が描かれており、反戦への強い思いが政治風刺マンガを描く大きな原動力になったそうです。

▶本年も「那須良輔 風刺漫画大賞」の開催が予定されてい

ます。連日報道されているウクライナ情勢への思いが風刺されるかもしれません。戦争とコロナが一日も早く終わることを願います。

(金子)

◆議会広報調査特別委員会

私たちが編集しました。

委員長 森山 宏 副委員長 西 靖邦
委員 金子 光喜 椎葉 弘樹
遠坂 道太 吉田 精二

湯前町議会

検索

湯前町議会のホームページもご覧ください。

